

すべての
子どもに

安心・安全で質の高い保育を平等に 予算の増額と保育士の増員を

保育士1人が受け持つ子どもの数
(4・5歳児)の国際比較

日本
30:1



フランス
15:1



スウェーデン
18:3
(実質6:1)



今こそ改善!

国際的にも 低すぎる保育士配置基準

日本の保育士配置基準はあまりに低く、1・2歳児は56年間、4・5歳児は1948年の基準制定から75年間、改善されていません。「こども未来戦略方針」には1歳児と4・5歳児の「改善」

が盛り込まれましたが、実施の時期も明記されておらず内容も不十分です。4・5歳児で比較すると、フランスのパリ市は15:1、スウェーデンのストックホルム市は18:3(実質6:1)です。

今こそ引き上げ!

賃金と労働条件

低すぎる保育士の給与
月給での比較(2022年)

31万
1,800円
全職種

26万
800円
保育士

(出典) 令和4年賃金構造基本統計調査

保育の仕事は、子どもの命を守り、発達を保障する高度な専門性を必要とする仕事です。けれどもその賃金は、全産業平均よりも大幅に下回っており、慢性的な人手不足に陥っています。

安心して働き続けることのできる、賃金と労働条件の大幅な引き上げを求めます。

今すぐ倍増!

保育・子育て予算

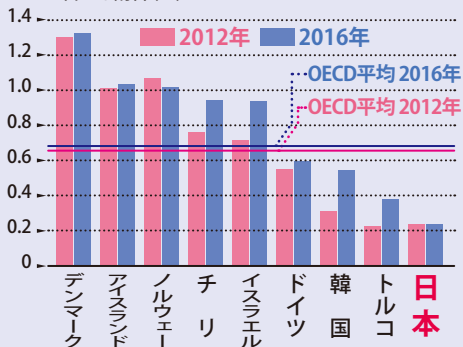
国は、子ども関連予算の「倍増をめざす」と明言しましたが、その実現は先延ばしされています。日本のGDPに占める就学前教育関連支出の割合は、

先進諸国の中でも極端に低いままです。予算を倍増し国際的な水準まで引き上げることは待ったなしの課題です。

〈OECD諸国平均の3分の1の低水準〉

就学前教育への支出のGDPに占める割合

GDPに占める割合(%)



『幼児教育・保育の国際比較』OECD国際幼児教育・保育従事者調査
2018報告書一質の高い幼児教育・保育に向けて/明石書店より作成

子どもたちと未来のために — 願いを実現しよう!



子どもたちには、保育を受ける権利があります。国と自治体には、それを保障する責任があります。

子どもたちのために、保育予算増額と配置基準改善の声を国・自治体に届けましょう。

私たちの「願い」を署名にたくし、子どもたちのために一緒に声をあげましょう!



子どもたちのために! 学び、つながろう! 声をあげよう!

よりよい保育を! 実行委員会

連絡先: 全国保育団体連絡会

〒162-0837 東京都新宿区納戸町26-3 TEL 03-6265-3171

2023年度署名

取扱団体

署名にご協力
ください。

